

祝福と昇天

使徒言行録 1 章 1～11 節

2026 年 5 月 17 日 昇天日を覚えて

今朝は、イエス様の地上でのご生涯の最後の部分、天に昇られたこと・昇天とは、私たちにとって、どのような意味をもたらせるのかについて見て参ります。皆さんもご存知のようにイエス様は人間としてこの世にご誕生され、十字架に架けられた後、復活されました。4 月 5 日には、イースターのお祝いをしました。その後、40 日間、この地上で弟子たちと共に過ごされましたが、いよいよ地上でのご生涯を終えて天の父なる神様の元へと帰っていかれたことを「昇天」といいます。教会暦でいうと先週の 5 月 14 日(木)でした。復活されたイエス様は、その御身体をもって天に昇られました。私たちは使徒信条において、「・・・天に昇り、全能の父なる神の右に座したまへ(えり)」と告白している通りです。その様子が本日の聖書に記されていますが、ルカ福音書では、弟子たちを祝福しながら昇っていったと記されています。

イエス様の祝福の中で

では、イエス様は天にお帰りになって何をしておられるのかというと、私たちの天の御国での場所の準備をしてくださり、そして私たちのことを迎えにきてくださるその日(再臨)迄、絶え間なくずっと祝福し続けておられるのです。イエス様は十字架にお架かりになる前夜、弟子たち約束されました。「わたしの父の家には住む所がたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる。」(ヨハネ 14 章 2-3 節)。私たちのために場所を用意してくださり、その準備ができれば、この地上に戻って来てくださり、私たちのことを迎えてくださると約束されています。

イエスさまは祝福しながら天に昇り、そして、それと同じありさまで、つまり、祝福をしながら帰ってこられるのです。このようにイエス様の祝福は、天に昇られたその日からこの現在も私たちを天の御国へと迎えてくださるその日まで絶え間なくずっと続いているのです。何という幸いなことでしょうか。ですから、「わたしたちの本国は天にある」(フィリピ 3:20)とあるように、私たちは天の御国の住民として、安心してこの地上生活を送ることができるのです。イエス様が私たちを天の御国へと迎えてくださるその日まで、祝福の中を歩んでいることを実感する日々でありたいと思います。

証し人としての務め

このようにイエス様が天におられるからこそ、希望をもって天を仰ぐことができるのですが、それで終りではないということが、続いて語られています。イエス様は天に上げられる前に、地上における弟子たちの務めについてこのように語られました。「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」(8 節)それは、イエス様がこの世で成し遂げてくださった罪からの救いの恵みは、宣べ伝えられなくてはならないと命じておられます。それは、弟子たちに、そして私たちに対しての御言葉です。

その後、使徒たちがイエス様のお言葉の通りに、聖霊によって力を与えられ、キリストの証人となり、ユダヤとサマリアの全土に、そして地の果てにまで主イエス・キリストの福音を宣べ伝えていった、そのことをこの使徒言行録は語っていくのです。イエス様のこのお言葉は、使徒言行録全体の内容の予告でもあります。教会は全世界に広まっていきました。

一杯の水を差し出す勇氣

イエス様は天に上げられましたが、私たちは天の故郷を憧れだけで見つめているのではなく、この地上にいる間に地上にいる人に、伝えるべきことを伝えてゆく役割があるということを指示しておられます。この世では、多くの人が傷を負いながら、悲しみや苦しみの中で過ごしています。そのような中で、私たちはイエス様の祝福の中に生かされている者として、イエス様の温かなまなざしと天の御国への約束をまだ知らない方々に分かち合う者として、イエス様の愛と希望の言葉を届ける生涯を送る者として歩んでゆく務めがあります。そういわれると義務のように思うかもしれませんが、しかし、イエス様のことを伝える者として、何よりも語る者自身が養われてゆく経験をさせて頂くことになります。そうしている中で神様の恵みと祝福をより一層深く知ってゆく喜びを味わうことができます。

それは人の努力によるものではなく、天に上げられたイエス様が聖霊を地上に注いでくださるから可能となるのです。弟子たちは聖霊に満たされ、天からの力に覆われました。それがイエス様の約束でした。事を成すのは神御自身の力、聖霊の力なのです。使徒言行録において、聖霊の力が生き生きと働かれた初期の教会の様子を見ることができます。そして、その同じ約束は私たちにも与えられているのです。次週、私たちは聖霊降臨祭を迎えます。イエス様の昇天後、弟子たちがひたすら聖霊に満たされることを求めて待ち望んだように、私たちもまた聖霊に満たされ、上よりの力に覆って頂いて、証し人として用いられたら幸いです。